

新所長・三谷氏に聞く

2020年の先を見据えた 放送技術の行方



NHKがラジオ放送開始から5年後の1930年に開所した放送技術研究所(以下、技研)は、2020年に90周年を迎える。この6月に新しく所長に就任した三谷公二氏に、2018～2020年度の技研3か年計画について、また、その先のビジョンについて聞いた。

Mitani Kohji

三谷公二

NHK 放送技術研究所 所長
博士(工学)

1987年NHK入局。放送技術研究所において、画像処理、放送用テレビカメラの研究、ハイビジョンカメラの小型化、スーパーハイビジョンカメラの開発などに従事。2010年からNHK放送センターの技術局にて放送設備の開発・整備を担当。2014年から2年間、スーパーハイビジョン開発部部長として制作設備から送出・送信設備、受信装置までスーパーハイビジョンの試験放送に関わるシステムの開発を主導。2016年に技研副所長に就任、2018年に技研所長に就任。